

即興
演劇



少年院



令和元年度 課題解決型ワークショップ

即興演劇×少年院

少年院において想定される課題

- ・ 他者の気持ちを読み取れない
- ・ 想像力、創造力の向上
- ・ 自己肯定感の向上
- ・ コミュニケーション能力の向上

ワークショップ概要

即興演劇の手法を用いて、コミュニケーション能力の向上を目指します。即興演劇は自分一人では成立せず、相手の話しをきちんと聞き、気持ちや想いを理解し尊重しながら自分の想いを相手に分かりやすく伝えていかなければなりません。考えの異なる他の参加者と1つの絵とストーリーを作り上げていく過程をとおして、相手の気持ちを読み取り尊重しながらも、自分を表現していくコミュニケーション能力を身につけていきます。

また、即興演劇においては正解も間違いもなく、全員で協力して一つの作品を作り上げていくので、連帯感が生まれ、安心して自分を表現することができます。

講師

仙石 桂子 氏 (四国学院大学 准教授)

対象者

丸亀少女の家入所者
(※今年度は丸亀少女の家の教官にワークショップを体験していただいた。)

実施日

2019年12月25日 (計1回実施、90分/回)

ワークショップ内容

他己紹介

ペアになり、お互い自己紹介をする。相手から聞いた情報をまとめて、全員の前で相手について紹介する。

2つの点

チームに分かれて、チーム毎に人数分の人物画を描いていく。まず目を書いて、チーム内で順番に一筆ずつパーツを加えていき人物画を仕上げていく。そして、人数分出来上がった人物画の中から一枚を選び、その人物を主人公として、設定されたストーリーに基づき、一つの話しを完成させ、発表する。

ワークショップ参加者の声

【参加者の声】

- ・ **自分からは見えない部分を色々な視点から気づかせてくれたので良かった。**
- ・ 自分が見えている部分だけではなくて、**他人の感じ方等が表れてくるのが目に見えて分かった**ので面白かった。
- ・ **自分の考えだけではなく、他人の気持ちや意思を汲み取りながら一つの作品を作り上げていく過程は、正にコミュニケーションそのものだな**と思った。
- ・ 自分一人では絶対にできなかつただろうなという作品ができて、**他人がこういう考えをするんだとか、こういう想像をするんだ**ということが分かって面白かった。
- ・ 周りの人が助けてくれたり、フォローしてくれたりといった**安心感の中でできる空間だった**のが良かった。

【ロジックモデル】

